

【自治体編:事例(11)】

調布市

- ・人口は、約22万人
- ・新宿駅から京王線特急15分
- ・リサイクル率全国ランキングベスト3
- ・『ゲゲゲの女房』の舞台



★小電等を資源化することによるメリットは？

- ・家電製品を資源化し、ゴミを減らす。
- ・部品を有価で売却し、市の収入にできる。
- ・先進的に家電製品の資源化へ取り組む事により、イメージアップにつながる。
- ・職員のモチベーションが上がる。

★粗大ゴミから小電等を解体、選別し、資源化するようになったきっかけは？

- ・「電子基板やハードディスクなどの部品を燃えないごみとして処理するのはもったいない。資源化できないか。」という職員の声
- ・40センチ以上の家電製品を粗大ごみとして収集しているため、新たな収集経費を必要としない。
- ・家電製品の解体作業が、新たな人件費をかけずに、現在の職員体制により対応できたため。



★一般ゴミのうち小電の割合はおおよそどのくらい？

- ・年間約135,000点の粗大ごみを収集しており、そのうち電子レンジ、ビデオデッキなどの家電製品は11,000点程度、約30トンになっている(約8%、1日50~60点)。
- ・取り出した部品は当初の想定を上回る価格で売却できている。



★小電等はどのように解体・分別・保管しているの？

- ・対象となる家電製品を解体し、取り出した部品を6種類(①モーター、トランス、マグネトロン、②電子基板、③ハードディスク、④コード類、⑤金属複合材、⑥プラスチック)に分けて保管。
- ・4トン車にいっぱいになった時点で事業者へ連絡。売却後、引き取りに来てもらう。



■提携事業者
○株式会社リーテム

■問い合わせ先
調布市環境部ごみ対策課

電話:042-481-7686